

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 総合診療科医師確保研修資金貸付金事業 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

医療福祉連携推進課 医療人材確保係 電話番号：058-272-1111(内3278)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,600 千円 (前年度予算額： 2,400 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,400	0	0	0	0	0	2,400	0	0
要求額	3,600	0	0	0	0	0	3,600	0	0
決定額	3,600	0	0	0	0	0	3,600	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内のへき地における医療については、医師数が他の地域に比べて少なく、各地域で患者のニーズに応じ、横断的・総合的に診療できる医師が求められている。また、近年の高齢化に伴い、複数疾患を持つ高齢者が増加することが予想され、医師不足地域で働く総合診療科の医師の増加・資質向上が必要となっている。

(2) 事業内容

総合診療科の専門医認定後、県内の岐阜圏域以外の過疎地等の医療機関において勤務する意思のある総合診療科の専攻医に対して、研修資金の貸付けを行う。

専門医認定後に一定期間、岐阜圏域以外の過疎地域等の医療機関(※)で総合診療科の専門医として勤務した場合は、返還を免除する。

※ 医学生修学資金「地域医療コース」の対象となる市町村にある医療機関

【貸付対象者】

日本国内で総合診療科の専門研修を行う専攻医

【貸付金額】

総合診療科：年額1,200千円

【所要経費】

・新規分 2,400千円 (定員2名) ・継続分 1,200千円 (1名)

(3) 県負担・補助率の考え方

事業費全額について地域医療介護総合確保基金を充当

(4) 類似事業の有無

医師不足診療科の解消を目的としている特定診療科医師研修資金がある。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
貸付金	3,600	将来県内で総合診療科の医師として勤務する専攻医への貸付け
合計	3,600	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想
第7期岐阜県保健医療計画

(2) 国・他県の状況

8府県で同様に総合診療科の専攻医に対する研修資金の貸付けを実施

(3) 後年度の財政負担

医師不足地域の医療機関に勤務する総合診療科医が十分に確保できるまでは継続する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

総合診療科の専門研修を行う専攻医に研修資金を貸し付け、県内医師不足地域で勤務することを義務づけることにより、県内医師の地域偏在、総合診療科の医師不足を解消し、地域医療資質向上及び医師の育成・県内定着を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
①人口10万人対医療施設従事医師数	173.0人 (H18)	224.5人	/	235.9人 (H35)	235.9人 (H35)	95.2%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 岐阜県総合診療科医師研修資金についてのチラシの作成、岐阜県公式ホームページでの広報を行い、1名の貸し付けにつながった。総合診療科の専攻医1名に研修資金の貸し付けを行ったことで、今後岐阜県への定着につながると考えられる。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	地域のニーズの高い総合診療科医の確保に繋がる事業であり、必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	令和2年度は1名の研修医に研修資金の貸し付けを行うことができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	岐阜県公式ホームページでの広報、病院関係者との面談の際に周知を行った。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 貸付に結び付いた研修医は未だ2名のみである。(R2年度：1名、R4年度：1名)

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内医師の地域偏在、総合診療科の医師不足を解消し、地域医療資質向上及び医師の育成・県内定着を図るため、継続すべき事業である。
